

令和6年度

岐阜工業高等専門学校

参与会報告書

令和6年9月

岐阜工業高等専門学校 参与会

岐阜工業高等専門学校 参与委嘱者名簿

(五十音順、敬称略)

うえまつ よしひこ 植松 美彦	欠席	岐阜大学 工学部長
うさみ こうぞう 宇佐美 晃三		岐阜高専若鮎会 会長
うしごめ すすむ 牛込 進		株式会社T Y K 代表取締役会長 (一般社団法人岐阜県工業会 相談役)
かくた のりよし 角田 範義		豊橋技術科学大学 理事・副学長
ごう やすひこ 郷 泰彦		岐阜県商工労働部 次長
さとう みきひこ 佐藤 幹彦		岐阜県中学校長会 会長 (各務原市立蘇原中学校長)
ふじわら つとむ 藤原 勉	欠席	本巣市長
	代理	本巣市教育委員会参事兼社会教育課長 のはら てつじ 野原 徹二
みしま あや 三島 綾		岐阜工業高等専門学校教育後援会 会長
もりかわ きよし 森川 清志	欠席	中日新聞 岐阜支社 報道部長

参与会出席者名簿

岐阜工業高等専門学校関係者

伊津野 真一		校長
北川 秀夫		副校長（教務主事）
柴田 良一		副校長（研究主事）
角野 晴彦	欠席	副校長（学生主事）
菅 菜穂美		副校長（寮務主事）
片峯 英次		専攻科長
出口 利憲		点検評価・フォローアップ委員長
久保田 圭司		一般科目（人文）学科長
山本 浩貴		一般科目（自然）学科長
石丸 和博		機械工科学科長
羽渕 仁恵	欠席	電気情報工科学科長
福永 哲也		電子制御工科学科長
水野 和憲	欠席	環境都市工科学科長
	〔代理〕	環境都市工学科教授 鈴木 正人
青木 哲		建築学科学科長
山田 実		テクノセンター長
中島 泰貴		図書館長
安田 真		情報処理センター長
野々村 咲子		学生相談室長
田島 孝治	欠席	国際交流室長
羽室 秀樹		事務部長
須藤 淳一		総務課長
松浦 克行		学生課長

参与による点検・評価票

点検・評価実施年月 2024 年 9 月

点検・評価対象期間 令和 5 年（2023）年度～令和 6 年（2024）年度

取りまとめは岐阜高専の事務局で致します。集計時にお名前は伏せた形と致します。

なお、参与の皆様のご了解の下で編纂されました最終の報告書は、参与会のお名前で Web 公開予定です。

評価ランク
評価 5：非常に優れている。評価 4：良好である。評価 3：おおむね良好である。 評価 2：やや不十分である。評価 1：不十分である。

A	入学者の確保について
	【5段階評価】 評価 5 2 評価 4 4 評価 3 1 評価 2 評価 1 （該当評価に○印） 平均 4.14
	【自由記載欄】 【角田】 志願者数の増（前年度）が見られる。学校の努力がうかがわれる。 【牛込】 なし 【宇佐美】 今後少子化が一層進展していく中で、近い将来定員減等の対応が必要となってくるのではないかと。 【郷】 コロナ感染拡大による広報活動の制約により志願者が減少した時期があったものの、入学者については高い学力レベルを維持した上で確保できている。中学生に対する周知・広報についても高専祭に積極的に招待するなど、様々な工夫を行っている。 【佐藤】 ○小中学校への出前授業や、オープンキャンパス・高専祭への中学生招待等による PR 活動や学校説明については、岐阜高専に興味のある生徒・保護者にとっては大変ありがたい取組となっている。 ○入学者募集要項の「推薦選抜」「学力検査選抜」それぞれの出願資格・選抜方法等の基準が大変具体的に記述・公開されていることは、中学校での進学指導で説明しやすく、生徒・保護者にとっても大変わかりやすくなっていると考えている。 △一方で、県立高校の動きなども踏まえながら、入試システムの業務効率化を考えていただけるとありがたい。例えば「推薦選抜」について、これからも定員の半数程度を推薦で合格させていくような方針を続けていくのであれば、募集要項にある「推薦要件」の内容を精査していただくか、生徒個人からの「自己申告制」にするなどの改善をお願いしたい。そして、中学校長が作成する公印付きの「推薦書」の提出が必要かどうかなどについても検討していただきたい。中学校としては、現在の「推薦要件」②にある（（a）：中体連以外での県大会同等 3 位入賞実績）（（c）：国または地方公共団体からのボランティア表彰実績）の内容については、学校外での活動が中心となるため、表彰状等での事実確認しかできないため、公印を押印するだけの責任が持てない部分がある。 △今後も「推薦選抜」「学力検査選抜」それぞれの出願資格・選抜方法等の基準を具体的に「募集要項」に公開していく場合は、中学校 1 年生の段階からリーフレット等を配布し、早くから周知できるとよいのではないかと。また、「募集要項」の内容を変更するような場合も含めて、何かあれば事前に中学校長会にもご相談いただけると、事務局等を通じて県内全中学校へ周知することができるので、併せてお願いしたい。 【野原】 新入生を確保するために、高専祭などを工夫されるなどしているところは、評価できます。さらに、高専の魅力を発信し、受験生が増えていく努力を重ねられるとよいと考えます。 【三島】 高専祭への中学生招待や中学校直接訪問は、中学生に高専を知ってもらうとよい活動だと思いました。大変かと思いますが引き続き取り組んでいただくと幸いです。

B	教育課程について
	【5段階評価】 評価5 2 評価4 5 評価3 評価2 評価1 (該当評価に○印) 平均 4.29 【自由記載欄】 【角田】 地域や社会から期待されるリーダーを育てる教育が行われている。 【牛込】 なし 【宇佐美】 なし 【郷】 実情に合わせて各学科において教育課程の見直しを適宜行っており、卒業生や修了生からも高い評価を得ている。 【佐藤】 ○説明資料にある「ディプロマポリシーに関する卒業生・修了生アンケート結果」で、すべての項目が5段階評価の4以上を示していることから、生徒たちにとっても充実した教育課程となっていることがうかがえる。 △説明資料の「教育課程の改訂」について、環境都市工学科のみ2017年度以降改訂されていないのはその必要がないからだとは思いますが、「専門的能力」や「情報通信技術」等については日進月歩である部分もあるため、定期・不定期に教育課程を見直していくことも必要ではないか。 【野原】 これからの社会を息抜き、次世代のリーダーを育成している貴校の教育課程は、学生が主体的に学び、創造的に課題追求を行う姿が求められていると考えます。貴校の報告の中で、これまでの授業と変わってきているとの報告もありましたので、ぜひ、これからも未来を担う学生の育成を図っていただきたいと思います。 【三島】 ディプロマ・ポリシーの内容はとても素晴らしいと感じました。ただ、現状、学生はキャパオーバー気味のようです。
C	国際交流について
	【5段階評価】 評価5 評価4 6 評価3 1 評価2 評価1 (該当評価に○印) 平均 3.86 【自由記載欄】 【角田】 現在は世界とあたりまえのように SNS で繋がる社会である。アプリも開発されており、リアルな研修とともに進めてほしい。 【牛込】 なし 【宇佐美】 若鮎会としては、さらなる支援体制が出来ないか、考えて行きたい。 【郷】 コロナ感染拡大の最も大きな影響を受けた取り組みの一つと思われるが、コロナ後は派遣を中心に着実に持ち直している。 短期での派遣、受入は国際交流の第一歩として適切である。 【佐藤】 ○貴校の教育理念にある「国際性豊かで世界に羽ばたく気概を持つこと」や、教育目標にある「国際コミュニケーション能力」を育成するために、さらに海外協定大学の学生の受け入れや在校生の海外渡航に対する支援を充実させたい。 【野原】 多様な価値観を知ることは、これからの社会で生きて行くためには重要なことです。今後も、積極的に国際交流をしていただき、多様な価値観と触れ合う機会を作っていただけたらと考えます。 交換留学生のような長期間他国の学校に行って学ぶ制度をさらに、拡大していただけることを期待しています。 【三島】 放課後英会話レッスンに継続的に参加したいと思っても、やらなければならない事が多く、あまり参加できないようです。

D	情報通信技術を活用した業務の効率化について
	【5段階評価】 評価5 3 評価4 .3 評価3 1 評価2 評価1 (該当評価に○印) 平均 4.29
	【自由記載欄】 【角田】 時代の流れである業務の効率化は順調に進んでいる。同様にセキュリティーは情報化において重要な課題であるので機構本部で協力して進めてほしい。 【牛込】 なし 【宇佐美】 なし 【郷】 今後の課題として認識されているとおり、情報インフラは構築時のみならず運用にも多大な維持・管理コストを伴うことから、教職員の負担軽減や業務効率化、学生の利用満足度といった様々な指標で効果を評価・分析して、費用対効果の高いものに財源を重点配分する工夫が必要ではないか。 【佐藤】 ○今後、入試システムのさらなる業務効率化についても考えていただけるとありがたい。 【野原】 これからの時代、情報通信機器を活用して、教職員の業務に止まらず、学習に役立てることは不可欠だと考えます。是非とも、先進的な取り組みをしていただき、広めていただけたらと考えます。 【三島】 学生⇄教員の Teams において、教員が休日でも対応してくれることが多く、学生はとても助かっているようです。教員の皆様、ありがとうございます。
【その他、ご意見・感想など、ご自由に記載ください】 【角田】 教職員は自信をもって高専運営を進めてほしい。BYOD や学内セキュリティー対策は重要な課題であるが積極的に進めてほしい。 【牛込】 先生方が意欲的に活動しておられ、感銘を受けた。 【宇佐美】 なし 【郷】 評価項目にはありませんが、「地域連携」では昨年度以降、岐阜県総合人材チャレンジセンター（ジンチャレ）と連携協定を締結し、5月に県内企業向け求人票セミナー、7月に地元就職ガイダンスの開催に尽力いただいたほか、今後も高専祭での企業との座談会（10月）、高専キャリアプログラムでのジンチャレとの連携事業（12月）を計画いただくなど、新たな取り組みを進めていただいていることに感謝申し上げます。 県では、県下最大規模の企業展「オール岐阜・企業フェス」を今年も開催予定で、12月19日に「IT・理系の日」、2月25～27日に「一般開催日」を計画しています。必要であれば貴校から会場（じゅうろくプラザ）までの送迎バスを用意しますので、多くの学生・教員のご参加を検討いただけますと幸いです。 【佐藤】 特になし。今後ともよろしくお願いいたします。 【野原】 本巣市の様々な事業にご尽力をいただけていること有り難いです。今後も、本巣市や本巣市教育委員会の事業に積極的に連携していただければと思います。 【三島】 高専生は「高専生は真面目でとても優秀だけど、面白みがない」と言われがちです。高専の「自由」という特徴を生かして、校外で様々な経験をし、知識と知恵を身につけ、社会を楽しく生き抜く力を養ってほしいと思います。 教員、職員の皆様には、学生に熱心に向き合っていただき、感謝申し上げます。 残念ながらほんの一部の教員によるハラスメント行為があるようです。ハラスメントを報告するような調査委員会の設置等を検討していただけますと幸いです。	